

台風災害調査を兼ねた ドローン自動操縦勉強会

令和元年 12月5・6日、千葉森林管理事務所では台風 15号等により大きな被害を受けた森林の調査に役立てるため、災害調査を兼ねたドローン自動操縦勉強会を開催しました。

実施に当たり、関東森林管理局にドローン操作に習熟した職員をアドバイザーとして派遣依頼しました。先ず、勉強会前日に飛行区域のほか、飛行高度や撮影写真のオーバーラップ率の設定等を行いました。



タブレットへの飛行ルート事前入力



千葉県職員への説明

飛行当日は千葉所職員のほか、千葉県の出先機関からも参加がありました。自動操縦によるドローンの飛行・ホバリング・撮影の動作が行われる状況を目のあたりにすると、参加者から感嘆の声が上がりました。

今回は4回のフライトにより、被害を受けた森林の周辺を含めて、合計約120ヘクタールの飛行区域を撮影対象とし、約9000メートルを飛行させて266枚の空中写真を撮影しました。撮影した画像はオルソ画像化し、国有林GISに反映させ区域測量等へ活用していきます。



自動操縦により飛行するドローンを見る参加者



自動操縦により飛行撮影するドローン

今回作成したオルソ画像

